

# 国会通信

茨城選出の議員

## EPA承認案

### 一部に危機感

国民・藤田氏

国民民主党の藤田幸久氏(参院茨城)は3日、参院本会議で会派を代表して登壇し、日本と欧州連合(EU)の経済連携協定(EPA)承認案について、一部



参院本会議で質問に立った国民民主党の藤田幸久氏。国会

の品目で環太平洋連携協定(TPP)以上の市場開放がなされていると批判した。

カマンベールなどの「ソフト系チーズ」について、藤田氏は、国産チーズ価格が低下して生産額が大きく減少する試算があると指摘。「(国産チーズの)生産減少は生乳生産も直撃する。生産基盤の弱体化が止

まらない状態にある日本の酪農は、極めて深刻な事態に陥る」と危機感を示した。

吉川貴盛農相は、チーズ向け原料乳の高品質化や国産チーズの品質向上などに支援策を講じているとし、「酪農家の不安や懸念を払拭し、新たな国際環境の下でも安心して再生産に取り組めるよう対応する」と答えた。